

## 議会報告会実施報告書

開催日時	平成27年8月7日（金） 18時30分～20時08分		
開催場所	西当別コミュニティーセンター	出席者	28名
出席議員	後藤議長・島田副議長・高谷議員・岡野議員・石川議員・稲村議員 古谷議員・山田議員・澁谷議員・秋場議員・山崎議員・鈴木議員 五十嵐議員・佐藤議員 (事務局3名)		

### ◎岡野議員開会

#### ◎後藤議長挨拶

○（後藤議長） 今日第5回の議会報告会にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。今回4月の改選におきまして新たな議会構成となりまして、5月の臨時会、そして6月の定例会と進んで参りましたが、第25代の議長として就任させていただいた後藤であります。今日で5回を数えます議会報告会ではありますが、より開かれた議会づくりを目指して議会運営委員会の中で色々と議論をこれまでもさせていただいております。色々な議会改革を進めて参りました。そう言った中で年2回議会報告会を開催させていただこうと言う事で、3月の定例会終了後と、9月の定例会終了後にこのように報告会をと言う事で実施させていただいておりますが、今年は改選期でありましたので、直ぐ3月の定例会が終わって選挙となりまして、報告会を開催する事が出来ませんでした。6月が終わりまして、昨年の12月からこの6月の定例会までの報告をさせていただきたいと言う事で今日、お集まりいただきました。また、いま地方創生の総合計画を町は策定をするという事で委員会の審議が進んでいきますけれども、議会としても、皆さんの色々なご意見をいただく中で町の方に意見を上げていこうとの事で、今日敢えて議会の立場からも皆様にもその事の説明をさせていただいて、細かい意見まではどうかと思いますが、どういう方向でとの話を承れば有りがたいと思っております。今日は短い時間ではありますが地域のそれぞれの問題も含めまして、皆様と懇談を進めて参りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

#### ◎議員紹介

#### ◎各定例会報告

山田議員、古谷議員、稲村議員

#### ◎当別版総合戦略策定について

山田副委員長

#### 質疑応答

○（町内会） 私は、町民になって5年目であるが、5年間住んでいて非常に住みやすく良い町であると思う。私は、極力、あいの里の方などへは買い物に行かないで、なるべく当別町内で調達している。当別青年会議所と話す機会がありまして雑談の中であるが、果たして町職員の方はどこから通っているのだろうか、町民の人はどれ位いるんだろうかと聞いた処、多数札幌からも来てるとの事で、議員さんにですね、人口増加の策の一つとして、非常に奇抜な案としてはあるが、職員さんの町民率がどの位あるのか、ご存知の方はいらっしゃいますか。アバウトで良いのでどの位でしょうか。40位はあるのではないかと思うが、結構です。いずれにしても、相当数外部から通っているので、人口を当別町が増やそう、増やそうと施策を色々皆さん考えているが、非常に目前にある目の前にある物から、一つずつ紐解いても良いのではないかと思う。当別町民が町の職員採用試験に受からない事にも一因があると思うが、町の職員の収入は町民の税金で賄われており、しかも仕事は町の仕事をするので、町民が職員になった方がメリットは大きい訳で、色々地域を知ってる、人脈を知ってるという事から、是非、町民が町職員になるべく力を付ける策を考えていかなければならないと思うのが一つである。仮に周辺市町村から当別町の職員として通ってる方がいるとすれば、極力、当別町の住民になってもらうなど、自ら人口増加の策を取るべきだと思うので、非常に端的な意見であるが、もう少しうまく議員さんの知恵で作りに上げていただければと思う。

○（議 会） ご意見ありがとうございます。過去のこの報告会、意見交換会、あるいは町政懇談会の中でも色々この件については、意見をいただいている。議会の側も、あるいは町長部局もそういう努力を今してしまして、正にご指摘いただいた、それぞれの町外から通っている公務員については、それぞれの家庭の事情があるのだが、皆様の税金で公務員としてさせていただいている事もありますし、あるいは、また今ご指摘いただいた通り、当別町を知っている人が、公務に当たるという事のメリットは大きいと思うので、将来的にはここに住んでもらって、あるいは町民であった方に当別町の公務員をしてもらう等の事はメリットが大きいと思う。いま人口が減少していく中で、その事は大変重要な事だと思っている。また町としましても、何回も皆様から町政懇談会等でもご指摘をいただいております、町長もその件については、職員には色々な働き掛けをしているようで、最近何件かは当別町に住むという形になっているとの事で、町も中々難しい問題ではあるが、努力しているという事でご理解をいただければと思います。ただ、こういうご意見がありましたという事をしっかりと町の方に伝えて、今後もそのような方向で努力してまいりたいと言う事をお伝えしたいと思っております。

○（町内会） 4つの視点の内、道の駅の事についてだが、町の広報等で知っている限りであるが、入り込み数を40万数人と推定されていると思うが、という事は一日千人入って36万人であるが、冬季間もある訳で、どのようにして推計算出したのか、その根拠が非常に曖昧ではないかと思う。曖昧にやって人が入らなくて建物だけ作って、儲からないとの事に成りかねないと危惧しているので質問する。

○（議 会） 色んな事前の調査をしております、根拠についてはあるという報告になっています。車の台数とか乗用の割合だとか、色々調べてそう言った事から、その入り込み数は可能だという事になっている報告を受けています。その事よりも入ってもらう努力をこれからするという事も、それが一番大事な事だと思っている。

○（議 会） この件については、恐らく町政懇談会の時でも何方から質問があったようです。それで今、議会側からこうですと言う事は本来答弁すべきではないのかもしれないませんが、一応町が見込んでいますのが40万人という風に議会の方には聞いています。また、ものすごく他の道の駅で入り込みが多い処は、お一人のお客さんがその道の駅に落とすお金が千円以上だと聞いているのだが、当別町の試算では450円で試算していると聞いています。ですから低く見積もっていますので、仮に40万人を切ったとしても、お一人当たりのお客さんの単価額が上がれば、計算どおりに戻るとの事です。町としても集客を如何にするかという事で、40万人以上を目指したいと、またリピーターというか、あそこに行ってあれを買って見たいというものを増やして、お客さんの購買単価を上げる努力をしたいという事と、なるべくコストが掛らないような運営を目指したいという事を町の方では答弁されていたと思います。

○（町内会） 道の駅の基本設計の説明等では、道の駅の動員のターゲットは、札幌市の東区、北区の40代から60代位の女性が主であると出ているが、交通量とか、年間40万人だとか、50万人以上で黒字になるとかの事であるが、車の通行量調査は、札幌大橋の側の向かっていく車、反対から来る車は一日どの位なのかなど当然調査されていると思うが、道の駅の建設用地は札幌から向かってくると右折しなければ入れないので、国道から入りずらくて停滞するのかわたてでないかと思うので、予想の4割方は、人の入り込み数が減るのではないだろうかと感じている。

○（議 会） これにつきましては、私共も聞いた範囲では、あそこに右折占用レーンだとかを国道側に作るとか、あるいは、国道4車線化になりますので、その辺の事はきちっとやっていますと町側から聞いているが、この事について議会として答える物を持っていないので、ご意見として伺っておきたいと思います。町の方には、きちっと伝えておきたいと思います。

○（議 会） 本当に入り込みが大丈夫なのかとの質問が出ておりますが、これらは議会でも、今と同じような観点で町長部局の方に昨年度の基本構想、基本計画、そして実施設計と予算が出された段階で、常に議会としても本当に大丈夫なのかと各常任委員会でも質問したり、各議員がそれぞれの一般質問の中で、正に議論している最中であると思います。皆さんからのそういう声を、7月の町政懇談会の中でも、道の駅について町民の意見があったと議会側でも聞いておりますので、今後とも行政に訴えて行く事が議員の使命だと思いますので、そういう声を色々な機会にいただければと思います。

○（議 会） 議員の中でも色々な考え方を持っていて、町民の皆さんの負託を受けて議会へ出てる訳なので、全部が全部一致している訳ではありません。町の職員がどれだけの人が町外から通っているのかとの問題は、極めて大事な問題であると思う。前の

町長に質問した時には、憲法上居住の自由はあるので、しかし努力はしたいというこのよう  
いう答弁であった。今、大体170数人の職員の内、60数名が町外から通っています。  
3分の1以上の驚くべき数字だと思います。町民がどう感じているかなどこの  
問題があり、この実態については、今後、職員も一緒になって変えていかなければ  
ならない問題を提起されたと思っています。道の駅の集客の問題については、一番大  
事な事はどれだけ集客を見込むのか、その根拠はなにかという問題で、通行量の調査  
をどこの場所で行ったのかなど担当している部署には質問しましたが、国道337号  
の通行量は集客台数に大きく関わってくる問題なので、その車両の問題を含めて今後  
とも町民の皆様には大いに関心を持ってもらいたいと思います。

○(町内会) 先の補正で要望した森林活動活性化交付金を決定していただいたが、  
今後とも有効に活動していくために、継続して交付されるようお願いしたい。木質バ  
イオマスの活用であるが、ペレットボイラーを採用するとの事であるが、輸入ペレ  
ットを使うのではなくて、難しい問題はあると思うが、地元で活用できるチップボイ  
ラーを設置する事を検討してほしい。

○(議 会) 今月の10日に所管の常任委員会で審議して、11日の議会で契約の  
審議をする予定になっており、今の事を十分に踏まえながら議員各位で審議してい  
く事になる。

○(議 会) 町政懇談会の時に西当別連絡協議会としての6点の要望事項を出して、  
今日その回答がきたのだが、その一つとして、町の観光資源である当別ダム周辺の利  
用についてとダム湖の利用についてであるが、魚の放流やボートを浮かべる事につ  
いては、道の判断としてダメとの事であった。

○(議 会) 西当別連絡協議会から要望されているのは承知しているが、回答があ  
った事はまだ聞いていないので、回答の中身について、町の考えについては、町から  
の報告を受けた上で、所管の委員会で対応させていただきたい。

○(議 会) 先日、石狩西部水道広域企業団の各議員で当別ダムと浄水場の視察を  
行い、ダム湖の利用については前から是非するべきだと思っており、今の質問にあ  
った事について、非公式ではあるが、魚の放流やボートについて聞いたところ、原則  
としては水質汚濁に繋がる事は差し控えてほしいが、はっきり禁止とは出来ないとの  
回答であったので、今後、行政との中で議会としても、所管の委員会の中でも、そ  
ういう議論をしていきたいと思う。

○(町内会) 切実なお願いであるが、スウェーデンヒルズは30年が経過して、約3  
30世帯で800人の一つの町内会であるが、当別町の中では27の町内会館がある  
が、町の名義で管理されており、建設に当たっても過去には町の負担で建ったとい  
う事を確認しているが、残念な事にヒルズには町内会館が無く、高齢者の集まる場所  
無く、スウェーデン交流センターや管理センター会議室を時間で借りている実態で  
ある。町の財政難も理解しているので、町と町内会とスウェーデンハウス等で色々  
と知恵を出し合って、コミュニティー施設である町内会館を作ってほしいとの願  
いがあり、今後、議員さんの力も借りて是非、実現させていくよう、それに向か  
って今、運

動を始めているところである。

○（議 会） 今すぐに、はいと言う訳にはいかないが、議会としても大きな命題と  
思っており、今後所管の委員会でも協議されていく事になると思う。

○（町内会） 以前の会合で、農協さんの問題についてお願いした件であるが、農協  
さんと議会さんとで接点を持ってほしいとお願いしたつもりであって、基幹産業であ  
る米も転作等により農協さんのスタイルも今までの状況より変わってきているので  
はないかと思うし、農協さんが将来どういう風に考えているのか知りたいとのお願い  
であった。太美の駅前に農協さんの倉庫があるが、実際どれ位使われているのだろう  
か、昔ほどの利用は無いのではないだろうか。農協さんが今までの姿で良いのか、あ  
るいは地域の中で農業さんがどう合ってほしいと考えた時に、農協さんにも将来ビジ  
ョンについて出していただきながら、一般住民とどんな問題を取り上げるかとの事も  
私達は知りたい事であった。道の駅が出来る事から農振の関係も時間的にも掛るし色々  
な問題が出てくると思うが、札幌のある団体の知人との話しの中ではあるが、当別にも  
スポーツ施設を作れないだろうかとの話になり、スポーツの総合運動施設等が出来  
れば、当別町民だけでは無く、札幌市民も利用して、人を呼び込めるのではないかと  
思うので、農振の問題も今後抱えていると思うが、農地も一般の土地へと変わって  
いく状況の中で議員さんと農協さんが中心になって動いていただければと思う。

○（議 会） たしか、前々回だと思うが、その話は伺っていたが、その時は、駅前  
の農協の倉庫の利用の事だと思っていた。私は農業者であり、太美農協の組合員でも  
あるので、利用状況について少しお話をさせていただくが、今、駅前の倉庫について  
は、穀物の一時仮置場として、また野菜流通上のもの、あるいは資材等の一時的な貯  
留場所となっており、常に使われており、空き状態とはなっていないと思っている。  
駅前の農協倉庫の活用方法等については、農協の中については、私達は農協役員では  
無いので、どういう形でどう運営されているのかは詳しくは分からないが、そう言っ  
た中で、そういう希望が適えば良いのかなと思っている。

○（議 会） 議会推薦として、農業委員会の方に出しております、当別町の農業に  
ついては、勿論、農協の組合長さんも入って、当別町の農業10年ビジョンという物  
が出来ておりますし、今それを進めるという事でやっておりますけれども、その進  
行管理についても農協が十分に関わっております事を報告させていただきます。農業  
委員会における農地転用については、この場ではその件については、お話を承って置  
く事に留めたいと思います。

○（町内会） 議員報酬については、現状維持で良いと思う。これ以上下がると競争  
原理が働かないで、無投票の次に、今後は成り手が無くなるのではないかと思う。二  
点目は、何ヶ月か前の広報に、一票の格差について当別町議会で議決をしてくれとの  
件であるが、これはもしそういう事が前面に出せば益々、過疎過密が重なって、例え  
ば東京の2つの区、世田谷と中野当たりだったと思うが、全道の人口と変わらないと  
なってしまう。でも狭い地域で何人もの議員と広い全道とで頑張っている議員が同じ  
数で良いのかとの問題があるので、こういう議決は絶対にしないようにして下さい。

○（議 会） ご意見として、賜りたいと思います。

◎各町内会の話題

○（議 会） 町内会の話題等に対しての事も、若干入っていましたが、改めてご意見があれば伺いたい。無いようであれば報告会を閉めさせていただきたい。

◎島田副議長挨拶

○今日はお疲れのところ、先日行われました町政懇談会に引き続き、また議会の方でこういう議会報告会をやるとの事で、各団体そして町内会の代表者の皆さんにお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。今回、5回目と言う事で、高谷議長の時の2年前に議会報告会を始めました。何故始めたと言うと、中々議会は何をやっているのか、良く分かりづらいとのそういう声があります。そう言った事で、当時から議会改革をして行こうと、それは町民に対して開かれた議会という事の一貫という事で、議会報告会をしていきたいと思いますという事で行っております。それで議会というのは、年4回ある訳ですけども、その都度、ちょっと時間は経過しますが、1ヶ月半後位には、議会だよりと言う議会広報が皆様のお手元に配布しているという実態ですが、中々議会が終わって直ぐ出来ないのも、本当はタイムリーに終了したら成るべく時間を置かないで皆様にお伝えしようとの事から始めたのですが、中々まだ5回目という事で、スムーズな運営は中々出来ない訳ですが、今後は各団体、町内会という事ばかりではなく、一般の町民の方にも幅広く、議会に対しての意見を言っていたという事で、いま議会運営委員会が中心となって、この議会報告会に取り組んでいまして、どうしたら良いかと言う事で、議員も15名おりますので、5人づつに分けて3班で限なく町内会を回るとか、色んなケースを想定して、議会の広報から今度は議会公聴として、住民の方に議会議員が入って住民の声を聞こうとの、いま取り組みをしようとの事となっておりますので、今年改選で、これから後4年は議員を出来ますので、何とかそういう形で皆さんの要望に答えていきたいと思っております。また、先程のヒルズの方からのお話がありましたけれども、議会は色んな住民の意見とか考え方を、首長なり道なり、国に届けて欲しいとの形で色んなそういう活動もしております。意見書を上げてほしい、あるいは請願とか、陳情書とかそういう一定の書式を作らなければなりません、それは議会事務局の方に相談していただければ色んな形での皆さんの考えとか想いを、まず当別町議会で議決してほしいだとか、国に訴えてほしいだとかそういう事が出来ますので、是非そういう形で議会を活用していただきたいと思っております。最後になりましたけれども、今年この議会広報、議会公聴、そして議会を知っていただく為に、インターネットで議会中継をするという予算化を本年度しておりますので、早い時期に出来るかなと思っておりますので、是非それも注目していただきたいなと思っておりますので、よろしくお願い致します。本当に、皆さんから忌憚無い意見をいただきましたので、これを我々議員、今後の議会活動に活用させていただいて、行政の方にも訴えて参りたいと思っております。